

事業報告書（研究・開発支援系専門部会、2025年度研究開発支援講座）			
事業名称	2025年度研究開発支援ゼミ	開催日	2025年9月2日
開催場所	ハイブリッド開催（Zoom＋現地会場） 会場：聖隷クリストファー大学	開催時間	19:00～20:30
参加者	会員：26名		
【活動内容】 2025年度研究開発支援ゼミは「臨床疑問をどう研究に変えるか？～臨床研究の“はじめの一步”～」をテーマに開催し、会員26名にご参加いただいた。 講師の芦澤遼太先生より、「臨床研究の意義と“はじめの一步”を踏み出すための思考と行動」についてご講義いただき、続いて「研究は文献検索から？PubMedとAIを使った文献検索の実践」として、AIを活用した文献検索の演習を行っていただいた。 講義と演習の理解度および満足度はいずれも高く、受講者からは以下の感想が寄せられた。 ・「研究をしていない私でも説明がすごく分かりやすく、聞き取りやすかった」 ・「完璧でなくても良いのでとりあえずやってみようと言ってくださった事が、挑戦してみようという気持ちに なることができました」 ・「英語論文の検索には手間がかかり忙しいときは日本語論文一つで疑問に対し納得してしまう癖があるため新たな検索ツールやAIの活用法を知ることができてよかったです」 ・「検索方法やアプリなどを紹介していただいたことがかなり大きかったですし、先生の講義を聞いて脳卒中認定取得の勉強に対する意欲が湧きました」 芦澤先生の後輩指導の経験に基づく研究意欲を高める講義、AIを用いた英語論文の文献検索・抄読の実践演習は、初学者のみならず経験者の受講者にとっても有意義であった。臨床経験も研究経験も多様かつ幅広い受講者であったが、これから研究を始める方だけでなく後輩や職場で指導する立場の方も参加されていた。受講者自身の研究活動だけでなく、後輩への研究指導など臨床に活かせる研究活動の促進につながる事が期待される。 今後の支援への要望としては、統計解析方法に関するニーズがあり、受講者の声を反映させた学会発表や研究活動の支援に取り組みたい。			